

会 告

社団法人 土 木 学 会

	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	5月28日(火)	第54回通常総会	東 京	5号1ページ参照
	6月14日(金)	第2回大学土木教育に関するシンポジウム	土 木 学 会	5号6 "
	6月17日(月)	第4回トンネル工学に関するシンポジウム	東 京	5号7 "
	~18日(火)		東 京	5号8 "
	7月16日(火)	応答を考慮した長大橋の耐震設計に関する講習会	東 京	5号8 "
	7月31日(水)	第5回水工学に関する夏期研修会	福 岡 市	5号9 "
	~8月3日(土)			
	8月5日(月)			
	~8日(木)	夏期講習会	東 京	5号6 "
	8月8日(木)	土木計画学講習会	大 阪・東 京	5号9 "
~9日(金)				
8月26日(月)				
~27日(火)				
8月29日(木)	昭和43年度全国大会	名 古 屋 市 外	5号2 "	
~30日(金)				
10月11日(金)				
~15日(火)				
中 部 支 部	6月13日(木) ~24日(金)	第1回講習会	名 古 屋 市	5号14 "
関 西 支 部	5月23日(木)	第41回総会および創立40周年記念式典	大 阪 市	5号13 "
中 四 支 部	7月18日(金) ~19日(土)	支部総会・特別講演会・年次学術講演会	徳 島 市	5号14 "
そ の 他	8月20日(火) ~23日(金)	応力測定に関する講習会	岡 山 市	5号13 "
		<ul style="list-style-type: none"> ■第53回年次学術講演会実施要領 ■第3回「国土開発映画コンクール作品募集」 ■土木学会論文集投稿要項の改訂について ■第15回海岸工学講演会講演募集 ■第18回応用力学連合講演会講演募集 ■PCくい使用に関する講習会 ■コンクリート工事用樹脂に関する講習会 ■国際会議のお知らせ 		5号2 " 5号3 " 5号4 " 5号6 " 5号10 " 5号11 " 5号12 " 5号16 "

第54回通常総会のお知らせ

昭和43年度の通常総会は、つぎの日程で東京都において開催いたします。多数ご参加下さい。

なお都合により総会にご出席願えない方は、お手数ながら、本誌3月号添付の委任状をぜひご送付下さい。

1. 日 時：1968年5月28日(火) 13.00~18.00
2. 場 所：私学会館7階講堂(国電市ヶ谷駅下車3分)
3. 次 第：

総 会：事業報告 決算報告 名誉会員推挙
土木学会賞授与 新役員の紹介

特別講演：(15.00~17.00)

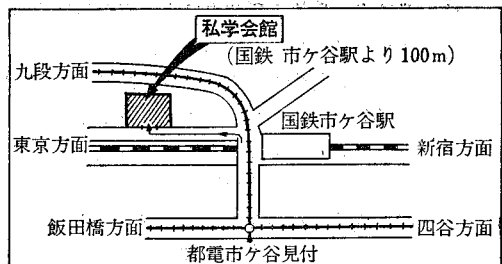
わが国の高速道路 土木学会会長 富 樫 凱 一
経済の動向と公共投資

日本経済研究センター理事長 大 来 佐 武 郎

懇 親 会：私学会館7階 17.00~18.00(会員の多数参加を希望します)

会費 500円、当日ご持参下さい。

会 場 案 内 図



「土木学会 昭和 43 年度全国大会」

「土木学会 昭和 43 年度全国大会」は、今年から総会と分離して、第 23 回年次学術講演会をはじめ、特別講演会、部門講演会、PR 講演会、懇親会、見学会をつぎの日程で名古屋市において開催することになりました。

懇親会、見学会、講演概要集購入などの申込み方法は、学会誌 7 月号でお知らせします。

- | | | |
|----------------|---------------------------------|------------------------|
| 1. 特別講演会 | : 1968 年 10 月 11 日 (金) 9 時~12 時 | 於 名古屋大学 豊田講堂 |
| 2. 部門講演会 | : " 10 月 11 日 (金) 13 時~17 時 | 於 名古屋大学教養部教室 |
| 3. 第23回年次学術講演会 | : " 10 月 12 日 (土) 9 時~17 時 | " |
| | : " 10 月 13 日 (日) 9 時~17 時 | " |
| 4. PR 講演会 | : " 10 月 12 日 (土) 13 時~17 時 | 於中電ホール |
| 5. 懇親会 | : " 10 月 12 日 (土) 18 時~20 時 | 於豊田ビル 6階大ホール |
| 6. 見学会 | : " 10 月 14 日 (月)~15 日 (火) | |
| 1班 | 東海道方面 (伊豆長岡温泉泊, 小田原駅解散) | 10 月 14 日, 15 日 (1泊2日) |
| 2班 | 飛騨信濃方面 (平湯温泉泊, 松本駅解散) | 10 月 14 日, 15 日 (1泊2日) |
| 3班 | 伊勢志摩方面 (鳥羽泊, 蒲郡駅解散) | 10 月 14 日, 15 日 (1泊2日) |
| 4班 | 北陸方面 (宇奈月温泉泊, 高岡駅解散) | 10 月 14 日, 15 日 (1泊2日) |
| 5班 | 名古屋付近 (明治村, 日本ラインほか) | 10 月 14 日 (日帰り) |

第 23 回年次学術講演会実施要領

第 23 回年次学術講演会は、この度から開催時期を改め、昭和 43 年度全国大会学術講演会として 1968 年 10 月 11 日 (金)、12 日 (土)、13 日 (日) の 3 日間、名古屋大学教養学部教室において開催することになりました。

講演申込要領その他は、下記のように決まりましたのでお知らせします。講演希望者は定められた期日までに、講演申込み (期限 5 月 31 日必着) ならびに講演概要の原稿の提出 (期限 7 月 10 日必着) をして下さい。

I. 講演要領

- ① 研究論文は各部門とも、個人発表または一般報告形式として発表する。
- ② 個人発表は、講演時間を 15 分(交代時間を含む)とし、数編の講演後にまとめて質疑討論の時間を設ける。
- ③ 一般報告形式では、同じ種別の論文数編ずつを、学会の委嘱した一般報告者が総括して報告し、その後著者の補足説明ならびに質疑討論を行なう。
- ④ 一般報告形式による論文は、学会で決定し、学会誌 7 月号に掲載する。
- ⑤ 講演概要の記述にあたっては、一般会員がこれによって十分理解できるよう、必ずそれぞれの研究の考え方と結論をわかりやすく書くこと。

II. 講演申込要領

- ① 講演者の資格：講演者は土木学会員に限る。ただし、連名者は非会員でもさしつかえない。
- ② 講演申込方法：講演希望者は定められた申込カード (3 枚複写) に所定の事項を明記し、必ず 150 字程度のあらましを書き加え、官製はがき 2 枚 (表面に連絡者宛名を、裏面上部に講演題目を記入した) を添付して 5 月 31 日 (金) 必着するよう直接下記へ送付すること。

(送り先) 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部土木教室内 土木学会全国大会学術講演係

- ③ 申込カードは、各支部に準備しているから、所属支部へ請求すること。
- ④ 講演内容は、原則として未発表のもので、1 人 1 題に限る。
- ⑤ 講演部門は、つぎの 4 部門に分ける。

第 1 部門：応用力学、構造力学、橋梁など

第 2 部門：水理、水文学、河川、港湾、海岸、発電水力、衛生工学など

第3部門：土質力学，基礎工学，土木機械，施工など

第4部門：道路，鉄道，コンクリートおよび鉄筋コンクリート，土木材料，都市計画，交通，トンネル，測量など

講演申込カードには，講演内容が上に示す部門別分類のいずれに属するかを記入すること。ただし，都合により本人の了承を得て希望部門を変えることがある。

III. 講演概要原稿提出要領

- ① 講演申込者は，必ず講演概要原稿を提出すること。期日までに提出しないものは講演を断わります。
- ② 講演概要集は，原稿をそのまま縮写してオフセット印刷にしますので，定められた原稿用紙を用いること。
- ③ 原稿用紙は執筆要領とともに各支部に準備しているから，所属支部へ請求すること。
- ④ 原稿の長さは，2ページを原則とし，超過する場合は4ページ（3ページものは受けない）とする。
- ⑤ 原稿は，7月10日（水）必着するよう直接下記へ送付すること。
（送り先） 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部土木教室内 土木学会全国大会学術講演係
- ⑥ 講演者（○印）には，各自の原稿の別刷を30部贈呈するのみで，特別の増刷はしない。

IV. 講演概要購入申込要領

講演概要集は，すべて有料とし，無料交付はしない。学会誌7月号にとじこみ予定の購入申込書により申込むこと。（申込期限 9月1日）

V. 講演申込者へのお願い

講演申込みならびに講演概要原稿提出は，必ず期限を守って下さい。締切期日が過ぎてから到着のものは，プログラム編成，概要集の編集と印刷の作業進行上全く余裕がありませんので，残念ながら受理できません。あらかじめご了承ください。

講演申込カード必着日：5月31日（金）

講演概要原稿必着日：7月10日（水）

第3回「国土開発映画コンクール作品募集」

土木学会は，昭和39年秋，昭和41年秋と2回にわたり「国土開発映画コンクール」を開催いたしました。この実績にかんがみて，今年も映画コンクールを開催し，もって最近の土木技術発展のあゆみを広く周知させ，あすの国土開発に寄与したいと考えております。なお今回も，建設省ならびに日本国有鉄道のご後援を得て開催いたします。ふるってご応募下さるよう，また，関係の向におすすめ下さるようお願い申し上げます。

これまでの優秀作品は土木学会「フィルムライブラリー」として活用しており，年間の視聴者は1万名以上にのぼっております。今後も今回の優秀作品を含め土木学会はもちろん，一般の活用を推進する予定であります。

第3回「国土開発映画コンクール」要領

1. 内 容：国土開発に関し，土木技術を主とした映画（特定企業の宣伝色の濃いものはご遠慮下さい）
2. 規 格：16mm カラートーキー（上映時間約20分以上）昭和41年11月以降の作品に限る
3. 締 切：1968年9月30日
4. 申 込 先：社団法人 土木学会総務課あて（申込書があります）
（東京都新宿区四谷1丁目 電話 東京 351-4133）
5. 審 査：土木学会内 映画審査委員会
6. 賞 賞：1等1編，2等2編，3等3編 各賞ならびに賞牌（ただし該当作品のあい場合は変更することがあります）
7. 発 表 会：1968年11月20日（東京都内）

土木学会論文集投稿要項の改訂について

土木学会論文集編集委員会では、投稿論文の増加による論文査読の迅速化、論文集の充実等について種々検討し、先に討議欄、研究ノート欄を設置しました。これらにともない投稿要項も改訂すべく準備しておりましたが、一応下記の成案を得ましたのでお知らせいたします。今後投稿される場合は本要項によりおとりまとめ下さい。

土木学会論文集投稿要項

土木学会論文集への投稿に際しては、必ず和文；欧文題目、会員区分、氏名、学位、勤務先、役職名、連絡先を原稿用紙に明記し、下記にしたがって下さい。

1. 内 容：

投稿する原稿は、土木工学に関する理論、実験などによる研究の報文または工事の創意ある調査、計画、設計、実施などの報文、研究ノートおよび論文集掲載論文に対する討議とします。

2. 投 稿 者：

本会会員、または連名の場合は一人以上が会員であること。

3. 原稿提出期日：随時

4. 原稿の書き方について：

a) 投稿原稿は、和文、欧文どちらでも結構ですが、平易な文体で簡潔に記述し、正副各一通提出して下さい（ただし、一通はコピーで結構です）。

b) 投稿原稿は原則として土木学会原稿用紙（横書き 25 字×16 行＝400 字 30 枚綴、定価 50 円、送料 20 円）を使用して下さい。ただし、欧文の場合は A 4 判タイプ用紙にタイプ打ちして下さい（刷上り 1 ページは約 750 ワード）。

c) 図・表について

添付する図面は、下記の様式にしたがって、正副各一通提出して下さい。

正図はそのまま製版にとれるよう、トレーシングペーパー（白か透明）に描き線図のみ必ずスミを入れ、文字、符号は当方で統一して書き入れるので鉛筆書きとして下さい。

副図は当方で正図に文字、符号を書き入れたときの照合用に使用するので、正図をコピーし、文字、符号を明確に記入して下さい。

d) 写真について

写真は原則として手札程度のものを 2 枚ずつ提出して下さい。

5. 報文について：

a) 論文一編の長さは原則として図表を含み刷上り 10 ページ以内とします（図表の対字数換算は図一 1 による）。ただし、10 ページを超過する場合でも編集委員会が必要と認める場合は掲載することがあります。

b) 報文については 6. に記載する要旨を必ずつけて下さい。

6. 要旨について：

a) 和文要旨

① 和文要旨は、学会誌論文紹介欄に掲載しますので、それだけで報文の内容、たとえば研究方法、結果、結論および応用性などの大略が把握できるように記述して下さい。

② 和文要旨は、図・表・写真をふくみ刷上り 1 ページ以内とし、本文のページ数には含みません。

b) 欧文要旨

① 欧文要旨は、本文の内容を海外へ紹介することを目的としますので、和文報文に限り必要とします。

② 欧文要旨の内容は、原則的には和文要旨に準じます。

③ 欧文要旨は、図・表・写真をふくみ刷上り 2 ページ以内とし、本文ページ数には含みません。

④ 欧文要旨は、それだけで大体の内容が理解できるよう図・表および写真等それぞれ通し番号として下さい。

7. 研究ノートについて：

- a) 研究ノートは既発表論文の補足追加および研究に対する指針等をあつかったものを原則とします。
- b) 図・表・写真は4. c), b) に準じます。
- c) 1編当りの長さは刷上り3ページ程度とします。

8. 討議について：

- a) 討議は土木学会論文集に掲載されたもののすべてを対象とします。
- b) 討議原稿受付は、論文集掲載後6ヵ月以内とします。

9. 査読について：

投稿原稿は土木学会論文集編集委員会に設けられたつぎの4部会のうち該当部会において査読の上、掲載の可否その他を決定しますので査読希望部会を明記して下さい。

第1部会（応用力学・構造力学・構造工学・橋梁工学等）

第2部会（水理学・水文学・河川工学・港湾工学・海岸工学・発電水力・衛生工学等）


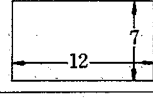

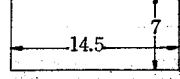
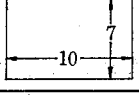
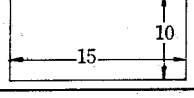
第3部会（土質力学・基礎工学・建設機械・施工法等）

第4部会（鉄道工学・道路工学・コンクリートおよび鉄筋コンクリート工学・土木材料学・都市計画・空港・測量等）

10. 抜刷について：

原稿には原稿料は支払いませんが、登載論文の抜刷は著者に50部まで差し上げます。それ以上希望の方は実費をいただきますから、あらかじめ希望部数を原稿にお書き入れ下さい。

図-1 対字数換算

区分	大 き さ (cm)	字 数	区分	大 き さ (cm)	字 数
A		175	D		700
B		300	E		800
C		550	F		1150

11. 著作権：

論文集掲載論文の著作権は、著者に属し、本会は編集出版権をもつものとします。

12. その他：

本規則に記述のないものは、土木学会誌投稿規則8~11にしたがって下さい。

付記① 以上の点に関して疑問の点がある

ありましたら、土木学会編集部論文集編集係にお問合わせ下さい。なお、論文の校正は原則として一回だけ著者に見て頂くこととなりますが、時期、方法などは、そのつど著者に直接ご連絡いたします。

- ② 原稿のコピーが不可能な方はその旨、ご連絡いただければ、学会で実費（B5判1ページ当り25円）で複写いたします。

以上の要項は昭和43年6月1日以降受付の論文につき適用致します。

論 文 集 へ の 討 議 に つ い て

論文集編集委員会では、論文集に掲載した全論文に対しての討議を受付けておりますので、討議をされる方は下記の要項をご参照のうえ論文集編集委員会へてご提出下さい。

記

1. 討議は論文集掲載全論文を対象とします。
2. 討議の受け付けは論文集掲載後6ヵ月以内とします。
3. 討議原稿を提出するときは学会原稿用紙に必要事項を記入のうえ論文集編集委員会へてご提出下さい。
4. 討議原稿の取扱いは論文集編集委員会にご一任下さい。
5. 討議に関する問合せは論文集編集委員会へご連絡下さい。

第2回大学土木教育に関するシンポジウム

◀ 6月14日(金) 9.30~ ▶

土木学会大学土木教育委員会の主催により、標記シンポジウムを下記のプログラムにより開催いたしますので、多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 日 時：1968年6月14日(金) 9.30~16.00
2. 場 所：土木学会土木図書館講堂
3. 参加費：無料・資料実費頒布(当日会場にて)
4. プログラム：

9.30~9.40	挨拶	大学土木教育委員会委員長	林 泰 造
9.40~10.10	大学土木教育の現状と問題点	東京大学	高 橋 裕
10.10~11.00	大学土木教育に関するアンケートの集計結果と分析	建設省	川 本 正 知
10.50~11.00	休 憩		
11.00~11.30	アメリカにおける大学土木教育	中央大学	林 泰 造
11.30~12.00	ヨーロッパにおける大学土木教育	京都大学	赤 井 浩 一
12.00~13.00	休 憩		
13.00~13.40	工専土木教育の現状と問題点—大学土木教育との関連において—	神戸市立工業高等専門学校校長・京都大学名誉教授	近 藤 泰 夫
13.40~14.25	大学土木教育に何を望むか	富士製鉄KK取締役企画部長	堀 武 男
		建設省大臣官房技術参事官	望 月 邦 夫
		鹿島建設KK副社長	石 川 六 郎
14.25~14.30	休 憩		
14.30~16.00	パネル討論 大学土木教育のあり方について		
	閉会の辞		

昭和43年度夏期講習会

◀ 8月8日(木)~9日(金) ▶

本年の夏期講習会は、あらゆる建設工事の基本となる測定法について、現場の第一線で活躍する技術者を対象として、下記要領で実施致します。今日、建設工事はますます高度化、専門化して、その設計、施工のための測定技術が不可欠のものとなってきつつあり、この時代の要請により、土木学会は「建設技術者のための測定法」の編集をすすめて参りました。夏期講習会は本書をテキストとして最近の測定技術とその応用、実測例、測定の効用などをわかり易く解説致します。多数の関係技術者、研究者のご参加をお待ちしております。

1. 期 日：1968年8月8日(木)~9日(金)の2日間
2. 場 所：朝日生命ホール(東京都新宿区角管 2-103・電東京(03) 342-3111)
3. 参加費：会員；3500円、非会員；4000円(予定・ただしテキスト代を含む)
4. テキスト：建設技術者のための測定法(A5判約350ページ)
5. 内 容：次号にてお知らせします。

第15回海岸工学講演会講演募集

第15回海岸工学講演会は下記により開催することになりましたので、講演ご希望の方はつぎの要領によりご応募下さい。

1. 開催時期：1968年12月初旬
2. 場 所：福岡市
3. 講演申込締切：1968年7月5日(金)
4. 講演原稿締切：1968年8月15日(木)
5. 講演申込みおよび原稿提出について：

- ① 講演申込みの際は、講演題目、著者名（連名の場合には登壇者に○印をつける）、予定ページ数を記入してハガキで下記申込先へお申込み下さい。
- ② 同一内容の講演を一緒に2つ以上提出すること、および同一著者が重複して登壇するものは受付けません。
- ③ 原稿一編の長さは原則として6ページ以内（400字詰原稿用紙30枚以内・図表・写真をふくむ）とします。
- ④ 原稿の内容により6ページ以内に収録することが困難な場合は、著者の希望により10ページまでの超過を認めますが、この場合は著者に超過1ページにつき2000円負担していただくか、超過1ページあたり講演集2冊お買上げいただきます。
- ⑤ 原稿には必ず超過の有無およびつぎの事項を記入して下さい（A：負担金、B：講演集購入）。
- ⑥ 図面は必ずスミ入れ、説明文字は縮尺を考慮してできるだけレターリングでスミ入れを希望します。スミ入れが不可能の時は鉛筆書きにし、原図のほかにコピーを同封して下さい。
- ⑦ 講演者には掲載論文の別刷50部を無料で差し上げます。それ以上ご希望の方は実費をいただきますから、あらかじめ希望部数を原稿にお書き入れ下さい。ただし講演集はご購入下さい。
- ⑧ 著者校正をご希望の方はその旨明記して下さい。
- ⑨ Coastal Engineering in Japan に掲載ご希望の方は英文題目、著者名、予定ページ数を明記の上お申出下さい。なお、同英文論文集に掲載する場合は掲載料（10ページまで刷上り1ページ当り1000円、10ページを超過した分については1ページ当り2000円）をいただきます。
- ⑩ 講演および英文論文集への掲載の採否については海岸工学委員会にご一任下さい。

6. 申込先：東京都新宿区四谷1丁目 土木学会海岸工学委員会

○開催期日、その他の詳細については決定次第追ってご案内いたします。

第4回トンネル工学に関するシンポジウム ◀ 6月17日(月)～18日(火) ▶

トンネル技術の進歩、建設単価の軽減、工事量の増加と工事規模の巨大化ともなる熟練工の不足等、わが国トンネル工事に関する諸問題の解明のため、トンネル工学委員会では昨年暮より2班からなる視察団を編成、米国、カナダ、欧州諸国に派遣いたしました。この視察団は、欧米諸国のトンネル工事をつぶさに調査研究し、多大の成果をおさめてこのたび帰国いたしました。

これらの成果は、今後のわが国トンネル建設一般および施工技術の改善に寄与するところ大であると思われるので、この帰国を機会に下記により標記シンポジウムを開催することに決定いたしました。斯界進展のためなるべく多数の関係者のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：1968年6月17日(月)、18日(火)の2日間
2. 場 所：私学会館講堂（国電市ヶ谷駅下車徒歩3分）
3. 参加費：3000円（テキスト代を含む）
4. 申込方法：氏名、勤務先、連絡先明記のうえ、会費を添えて土木学会事業課宛 6月10日までに申込み下さい。定員がありますので満員の際はお断りすることがありますのであらかじめご了承下さい。

第1日 17日

9.30～9.40	開会の辞	トンネル工学委員会委員長	藤井 松太郎
9.40～10.10	ソビエトの地下鉄	国鉄技師長	藤井 松太郎
10.10～10.40	アメリカのトンネル工事を視察して	国鉄山陽新幹線工事課長	斉藤 徹
10.40～11.20	アメリカにおける山岳トンネル工法	西松建設中国支店土木課長 国鉄山陽新幹線工事課長	○津下 富貴夫 斎藤 徹
11.20～12.20	アメリカにおけるトンネル掘削機	日本道路団名古屋建設局建設第2部長	江崎 健一郎
12.20～13.20	昼食休憩		
13.20～14.20	アメリカにおける地下鉄工事	帝都高速度交通営団工事第一課長 間組 城東砂町出張所	○吉沢 慶蔵 平尾 重信
14.20～14.50	アメリカにおけるコンサルタント業務	熊谷組理事 鹿島建設仙台支店枳内出張所長	○大塚 本夫 寺沢 研
14.50～15.05	休 憩		
15.05～15.40	アメリカにおけるトンネル請負工事の諸事情について（労務その他）	飛鳥建設鴨越作業所長 大林組土木部土木課長	○堀井 昇 森 実二
15.40～16.15	同 上（契約）	大成建設日本坂トンネル作業所長 藤田組名古屋支店屋土木課長	○横内 治 片岡 肇

会 告

16.15~16.40	アメリカのトンネル施工に関する新技術	奥村組技術研究所調査部長	河原畑 良 弘
16.40~17.00	(映画) マサチューセツ工科大学におけるレーザー光線による岩石破壊実験		
第2日 18日			
9.30~10.30	欧州におけるトンネル請負工事の諸事情について (契約、労務およびコンサルタントなど)	大阪市交通局建設部長 鉄建建設土木部次長	○宮内 義人 渡立 基
10.30~11.30	欧州における山岳トンネル工法	鉄道建設公団工務第一課長 鹿島建設土木部工務部長 電源開発水力建設部工事課長 佐藤工業九頭電作業所長	○足立 貞彦 奈良 雄夫 高前 夫立
11.30~12.30	欧州におけるトンネル掘削機	国鉄建設局線増課長 前田建設工業野辺地作業所長 三井建設大阪支店土木部長代理 清水建設工事課長	○横山 浩光 下居 雄吉 原田 彦
12.30~13.30	昼食休憩		
13.30~14.25	欧州のシールド工事	東京都交通局設計課長 銭高組大和工事々務所長	○遠藤 浩三 山田 隆文
14.25~15.20	欧州における地下鉄工事	帝都高速度交通営団設計第一課長	渡 辺 健
15.20~15.30	休 憩		
15.30~16.10	欧州における沈埋工法	地下工事コンサルタント社長	白 石 俊 多
16.10~16.50	(映画) ミュンヘン地下鉄工事の機械化シールド		
16.50~17.00	閉会挨拶	トンネル工学委員会幹事長	加 納 俊 二

応答を考慮した長大橋の耐震設計に関する講習会

◀ 7月16日(火) ▶

土木学会本州四国連絡橋技術調査委員会では、建設省、日本鉄道建設公団の共同委託により、昭和36年度来、本州四国連絡架橋問題につき5年余にわたる技術的な検討を経て、昭和42年7月にその調査、研究成果をまとめた“本州四国連絡橋技術調査報告書”を完成致しました。

この報告書のうち、耐震設計小委員会(委員長 岡本舜三博士)がとりまとめました“耐震設計指針(1967)・同解説および耐震設計詳説”は、環太平洋地震帯に位置し、大地震の危険性が高いわが国において世界的規模の長大吊橋および長大橋の耐震設計の基準およびそれを決定するに至るまでの諸研究調査資料、設計計算例などを集録したものであります。

これの作成にあたっては、土木関係者のほか地震、地質など各方面の専門家の知識を結集したものであります。ついで、今回この資料を主として下記により標記講習会を開催いたしますのでふるってご参加下さい。

記

- 開催期日：1968年7月16日(火)
- 会 場：大和証券ホール(東京都千代田区大手町2の8大和証券ビル8階・国電東京駅八重洲北口下車徒歩3分・都電呉服橋停留所前)
- 参加費：2500円(テキスト代を含む)
- 申込方法：氏名、勤務先、所属、連絡先を明記のうえ会費を添えて土木学会事業課宛6月29日までに申し込み下さい。定員がありますので満員の際はお断りすることがありますのであらかじめご了承下さい。
- プログラム

9.00~9.15	開会あいさつ	東京大学	岡 本 舜 三
9.15~10.00	耐震設計指針・同解説	国 鉄	田 村 浩 一
10.00~10.50	架橋地点の地震動	東京工業大学	伯 野 元 彦
10.50~11.40	構造物におよぼす地震力	法政大学	大 地 辛 三
11.40~12.30	地震時の土圧、水圧	京都大学	後 藤 尚 男
12.30~13.30	昼食・休憩		
13.30~15.10	下部構造	建設省 建設省	吉 田 敏 一 栗 林 栄
15.10~16.00	吊 橋	東京大学	伊 藤 学
16.00~16.50	カンチレバー橋、アーチ橋	東北大学	倉 西 茂
16.50~17.40	特別講演 長大橋の耐震設計	東京大学	久 保 慶三郎
17.40~17.50	閉会あいさつ	東京大学	久 保 慶三郎

第5回水工学に関する夏期研修会

◀ 7月31日(水)~8月3日(土) ▶
◀ 8月5日(月)~8月8日(木) ▶

第5回水工学に関する夏期研修会は下記により開催いたしますので、ふるってご参加下さいませようご案内いたします。

1. 開催期日：1968年7月31日(水)~8月8日(木)

2. 会 場：九州大学工学部防音 103 講義室(福岡市大字箱崎 3576・電話 福岡 64-1101)

3. 対 象：大学終了程度の方

4. 題 目・講師および日程：(題目は多少変更することがあります)

(A) 海岸・港湾コース：7月31日(水)~8月8日(土)

7月31日(水) 12.00~13.00	受 付		
13.00~14.00	特別講演：土木技術者の教育について	九州大学名誉教授	松 尾 春 雄
14.00~17.00	波浪推算法概論	九州大学教授	井 島 武 士
8月1日(木) 9.00~12.00	海岸計測論	九州大学助教授	光 易 恒
13.00~17.00	沿岸潮汐の予知	気象庁海洋気象部	宮 崎 正 衛
8月2日(金) 9.00~12.00	海岸保全	建設省河川局	豊 島 修
13.00~17.00	特殊防波堤論	運輸省港湾技術研究所	伊 藤 喜 行
8月3日(土) 9.00~12.00	沿岸環境問題	電力中央研究所技術研究所	和 田 明
13.00~17.00	河口安定論	宮崎大学助教授	吉 高 益 男
17.00~17.30	終 了 式		

(B) ダム・河川コース：8月5日(月)~8日(木)

8月5日(月) 12.00~13.00	受 付		
13.00~17.00	集中豪雨	九州大学教授	坂 上 務
8月6日(火) 9.00~12.00	航空写真による洪水時の流況測定	自由学園最高学部	木 下 良 作
13.00~17.00	河川汚濁論	九州大学助教授	栗 谷 陽 一
8月7日(水) 9.00~12.00	貯水池群の統合操作	京都大学教授	石 原 安 雄
13.00~17.00	境 界 層	九州大学教授	岡 部 淳 一
8月8日(木) 9.00~12.00	電子計算機の応用例	建設省土木研究所	木 下 武 雄
13.00~17.00	特別講演：乱流現象	九州大学名誉教授	栗 原 道 徳
17.00~17.30	終 了 式		

5. 定 員：(A) 海岸・港湾コース 100名, (B) ダム・河川コース 100名

6. 参 加 費：1コースにつき 4000円(ただしテキスト代を含みます)

7. 申 込 方 法：受講希望者は、勤務先、氏名、連絡先、コース名を明記のうえ、参加費を添えてお申込み下さい。

8. 申 込 先：土木学会事業課(東京都新宿区四谷1丁目・電話 東京 351-5139)

9. 申 込 期 限：7月20日(土)

土木計画学講習会

◀ 8月26日(月)~27日(火) ▶
◀ 8月29日(木)~30日(金) ▶

最近の土木事業はいちじるしく大型化されてきており、事業の大型化は必然的に計画の合理化を要請することとなります。

しかも今日では、土木事業の計画に何等かの形でたざさわる人が非常に多くなっており、しかし、現段階では、土木工学における計画の方法はまだ未成熟な段階にあり、一部で用いられている手法も土木一般の技術者に広く知られていない状態であります。

昨年から2回にわたって開催しました土木計画学シンポジウムにおいても、多くの強い要望が出されておりました。

土木計画学研究委員会では、これらの要望にこたえて、これまで用いられてきた手法をわかりやすく修得できるように、下記要領で第1回の講習会を開催することとなりましたので、多数ご参加下さいませようご案内致します。

なお今回は、計画学的手法に関する分野のみが講習会の対象となっておりますが、順次他の分野にも幅を拡げて、いろいろな手法をご紹介します予定であります。

記

1. 期日・会場：大阪；1968年8月26日（月）、27日（火）；大阪科学技術センター401号室
東京；1967年8月29日（木）、30日（金）；土木図書館講堂
2. 課 題：土木計画学的手法について
ただし、今回は特につぎの項目について焦点を絞って実施致します。
(1) 土木計画問題のシステム化と定式化について
(2) 調査方法および資料整理について
(3) 将来予測の方法について
3. 備 考：費用その他詳細は決まり次第本欄でお知らせ致します。

第18回応用力学連合講演会講演募集

前回から限られたテーマで開催されることになりました。お含みのうえご応募下さい。

本講演会を活発にするため、いくつかのテーマにしばって盛り上げていく計画をたてました。各テーマごとにシンポジウムの部と原著論文の部をつくり、シンポジウムの部では特に各学会から幾人かの方々をお願いいたしますが、原著論文については広く募集します。ふるってご応募下さい。今年度のテーマは下記の4つです。

1. 講演テーマ：A) 応用力学における統計的方法/B) 不安定現象/C) 境界層と拡散/D) 疲労
2. 共 催：日本学術会議力学研究委員会・応用物理学会・日本造船学会・土木学会・日本機械学会・日本建築学会・日本航空学会・日本数学会・日本物理学会
3. 幹事学会：土木学会（東京都新宿区四谷1丁目 電（351）5138）
日本物理学会（東京都港区芝公園 21-1-5 機械振興会館 211号室 電（434）2671）
4. 日 時：1968年11月8日（金）、9日（土）
5. 会 場：東京都立大学目黒新校舎（東京都目黒区八雲 1-1-1）
6. 申込期日：7月31日（水）所属学会必着
7. 申込要領：講演申込は所属参加学会を通じて行ない、参加学会会員以外の方は直接幹事学会に申込むこと、講演内容はすでに発表されたものでさしつかえないが、最近の研究に属するものが望ましい。申込みはB5判の用紙に横書につぎの事項を記入すること。
(ア) 講演題目、(イ) 概要 200字以内、(ウ) 講演テーマ（プログラム編成の都合上テーマは上記参照の上決めて下さい）、
(エ) 講演ならびに連絡者（協力者）の各氏名（連名の場合は登壇者に○印をつけること）・勤務先・通信先・学会員資格・年令、(オ) スライド（35mmに限る）の有無。
注 (1) 講演時間は討論を含め1題目 20分の予定、お申込みの際は付記をご覧ください。
(2) 講演の採否は講演会運営委員会にご一任願います。
8. 論文抄録集：聴講者用のテキストとして論文抄録集を作ります。講演者は内容のわかる抄録原稿をつくり、講演申込学会へ下記により必ず期日までに原稿を提出して下さい。
(ア) 論文抄録（原稿）提出期日：8月31日（土）
(イ) 必ず所定の原稿用紙を用いる。用紙は所属学会から講演申込者に送付します。所定以外の用紙に書いたものは受付ません。
原稿は用紙（図表、写真を含めて1620字）1枚または2枚に余白を残さないよう体裁よくめいりょうにスミ書すること。
(エ) 印刷はオフセットによるもので写真も入れられます。
(オ) 原稿の書き方は用紙とともに送付します。
(カ) 著者には、各自論文印刷を20部贈呈いたしますが、抄録集は贈呈いたしません。
(キ) 抄録集にはシンポジウムの部の論文も収録いたします。
(付記) 日本学術会議力学研究連絡委員会からのお知らせ：
日本学術会議力学研究連絡委員会は、本講演会の論文のうちから適当なものを選定して欧文論文集を刊行する予定であります。本欧文論文集の登載の原稿に関しては追って同委員会から連絡します。

PC くい使用に関する講習会

共 催：日本材料学会，同各支部・土木学会，同各支部・日本建築学会，同各支部・コンクリートポータルビル協会
 協 賛：土質工学会

1. 開催地・会期・会場および申込場所

開催地	会 期	会 場	定 員	申 込 先
大 阪	6 月 24 日 (月) 9.00~17.00	大阪科学技術センター8階ホール 大阪市西区うつぼ1丁目 118	400	京都市左京区吉田泉殿町1の101 日本材料学会講習会係 電 761-5321
名古屋	6 月 25 日 (火) (*)	愛知県中小企業センター 名古屋市市中村区堀内町 4-3 (名古屋駅前)	250	名古屋市港区瀬川町 10 号地 東海コンクリート工業(株)
東 京	6 月 27 日 (木) (*)	日消ホール 東京都港区芝西久保明舟町 18	400	東京都港区新橋1丁目8の3 日本コンクリート工業(株)工事部 電 573-0361
新 潟	7 月 8 日 (月) (*)	新潟県民会館二階ホール 新潟市一番堀 3~1	200	新潟市東仲通1番町 86 前田製管(株)新潟営業所
仙 台	7 月 10 日 (水) (*)	宮城県建設会館 仙台市堤通り 134	150	仙台市外記丁 12 の 29 中央ビル内 前田製管(株)仙台営業所 電 25-8741
札 幌	7 月 12 日 (金) (*)	北海道自治会館 札幌市北四条西六丁目 (北海道庁北門前)	200	札幌市北4条西5丁目 三井生命ビル内 北海道コンクリート工業(株)
広 島	7 月 22 日 (月) (*)	広島商工会議所 広島市基町 5-44	150	広島市紙屋町1丁目2番 22 号 大同コンクリート工業(株)広島営業所 電 48-1234
福 岡	7 月 24 日 (水) (*)	天神ビル 11 階ホール 福岡市天神 2 丁目 12	200	福岡市業院1丁目 13 番 8 号 九州高圧コンクリート(株)

2. 聴講料および申込方法

聴 講 料：1000 円 (テキスト代共)

申 込 方 法：所属団体名，氏名，勤務先，連絡先を明記のうえ聴講料を添え，上記へお申込み下さい。申込締切は各開催地とも会期前日としますが，定員に達すれば期前でも締切ることがありますから，なるべく早目にお申込み願います。

3. テキストおよび科目

テキスト：PC くいの使用 (A5 判，活版刷 約 130 ページ)

科 目：1. PC くい使用のすう勢/2. PC くい製造と品質/3. PC くい力学的特性/4. くい支持力に関する諸問題/5. PC くい設計上の諸問題/6. PC くい施工上の諸問題/7. PC くいを用いた新しい施工例

4. 科目・時間割および講師 (講師の都合により変更することがあります)。

地 区	午 前	午 後
大 阪	① 岡田 清 (京大工) ② 杉本 六郎 (日本コンクリート) ③ 六車 照 (京大工)	④ 西田 義親 (金沢大工) ⑤ 榎田 博臣 (東急コンクリート)
名古屋	① 岡田 清 ② 杉本 六郎 ③ 六車 照	④ 西田 義親 ⑤ 榎田 博臣
東 京	① 吉田 巖 (建設土木研) ② 杉本 六郎 ③ 六車 照	④ 西田 義親 ⑤ 榎田 博臣
新 潟	① 柳場 重正 (金沢大工) ② 綾 電一 (大同コンクリート) ③ 六車 照	④ 西田 義親 ⑤ 榎田 博臣
仙 台	① 後藤 幸正 (東北大工) ② 古敷 徳二 (アサボール) ③ 六車 照	④ 河上 房義 (東北大工) ⑤ 榎田 博臣
札 幌	① 横道 英雄 (北大工) ② 杉本 六郎 ③ 六車 照	④ 北郷 繁 (北大工) ⑤ 榎田 博臣
広 島	① 岡田 清 ② 綾 電一 ③ 六車 照	④ 綱千 寿夫 (広島大工) ⑤ 松浦 誠 (広大工)
福 岡	① 佐治 泰次 (九大工) ② 中山外喜二 (日本ヒューム管) ③ 六車 照	④ 山内 豊聡 (九大工) ⑤ 渡辺 明 (九大工)
		⑥ 山肩 邦男 (京工織大) ⑦ 大橋 一雄 (関西電力) ⑧ 山肩 邦男 ⑨ 市川 稔 (中部建設) ⑩ 吉成 元伸 (建設省建築研) ⑪ 津野 和男 (首都高速道路公団) ⑫ 吉成 元伸 ⑬ 津野 和男 ⑭ 吉田 巖 ⑮ 津野 和男 ⑯ 吉田 巖 ⑰ 伊藤 悦郎 (日本高圧コンクリート) ⑱ 渡辺 繁 (日本コンクリート) ⑲ 斎藤 彰 (日本鋼管) ⑳ 広岡 利貞 (九州地建) ㉑ 加藤田敬太 (大同コンクリート)

コンクリート工事中用樹脂に関する講習会

共 催：日本材料学会，同各支部・日本建築学会，同各支部・土木学会，同各支部・高分子学会，同各支部
 協 賛：各地区建設業協会・建築士会・建築協会・日本接着協会，同各支部

1. 開催地・会期・会場および申込先

開催地	会 期	会 場	定 員	申 込 先
名古屋	6月26日(水) 9.00~16.00	愛知県 中小企業センター 名古屋市中村区堀内町 4-3 名古屋駅前	150	名古屋工業大学建築・杉沢久兵衛 名古屋市昭和区御器所 電 732-2111
東京	6月28日(金) 9.00~17.00	日消ホール 東京都港区芝西久保明舟町 18	300	大成建設(株)技術研究所 鶴田康彦 東京都江東区深川豊洲5の1 電 551-5211
広島	7月23日(火) 9.00~17.00	広島商工会議所 広島市基町 5-44	100	広島大学工学部土木・船越 稔 広島市千田町 電 41-1161
福岡	7月25日(金) 9.00~17.00	天神ビルホール 福岡市天神2丁目 12	100	九州大学工学部土木・徳光善治 福岡市箱崎町 電 64-1101

2. 聴講料：1名1000円(テキスト代共)

3. 申込方法：下記申込書により，氏名，勤務先，連絡先等を明記のうえ聴講料を添えて，それぞれ地区の申込先へお申込みください。申込締切は各開催地区とも会期前日としますが，定員に達すれば期日前でも締切ることがありますから，なるべく早目にお申込み願います。

4. 科 目

1. コンクリート工事中用樹脂と接着理論/2. エマルジョン樹脂について/3. エマルジョン系樹脂の各種施工例
 特別講演 広島原爆ドーム補修例(広島大工 伊藤重夫)

4. 接着用樹脂の建築物における施工例/5. 接着用樹脂の土木構造物における施工例/6. 日本材料学会コンクリート工事中用接着剤(エポキシ樹脂)試験法(案)および施工指針(案)について

5. 科目・時間割および講師(講師の都合により変更することがあります。)

地区	午 前	午 後	
名古屋	① 井本 稔(阪市大工) ② 久保田浩典(竹中工務) ③ 大浜 嘉彦(建設省建築研)	④ 鶴田 康彦(大成建設) ⑤ 大浜 文彦(岐阜大工)	⑥ 西林 新蔵(京大工)
東京	① 井本 稔 ② 久保田浩典 ③ 大浜 嘉彦	特別講演 ④ 鶴田 康彦	⑤ 樋口芳朗(鉄道技研) ⑥ 西林 新蔵
広島	① 中尾 一宗(阪工) ② 久保田浩典 ③ 河野 俊夫(小野田セメント)	特別講演 ④ 椋代 仁郎(広島大工)	⑤ 船越 稔(広島大工) ⑥ 西林 新蔵
福岡	① 中尾 一宗 ② 久保田浩典 ③ 河野 俊夫	特別講演 ④ 佐治泰次(九大工)	⑤ 徳光 善治(九大工) ⑥ 西林 新蔵

コンクリート工事中用樹脂に関する講習会申込書様式

所 属			
所 在 地			
連 絡 先			
送 金 内 容	参加費(テキスト含む)		名 × 1000円 = 円
受 講 者 氏 名		受 講 番 号	*
"		"	*
"		"	*

応力測定に関する講習会

◀ 8月20日(火)～23日(金) ▶

1. 主 催：日本材料学会
2. 協 賛：土木学会，ほか9団体
3. 期 日：1968年8月20日(火)～23日(金)
4. 会 場：岡山大学(岡山市津島 電話 52-1111)
5. 定 員：講義および実習 50名，講義のみ左記の他に 100名
6. 聴 講 料：講義および実習：会員 8000円，非会員 9000円 (協賛学協会会員は会員扱とします)
講 義 の み：会員 3500円，非会員 4000円
ただし，X線応力測定法の講義，実習には養賢堂発行の「X線応力測定法」を使用します。ご入用の方は聴講料のほかに1300円を添えてお申込み下さい。他のテキストは上の聴講料に含まれています。
7. 申込締切：1968年8月10日(土)
8. 申込方法：随意用紙に参加希望の区別，氏名，所属，連絡先，履修書希望の有無を明記のうえ，聴講料を添えて下記宛にお申し込み下さい。(ただし「X線応力測定法」をお持ちでない方は別に代金を添えること)
9. 申 込 先：日本材料学会講習会係(京都市左京区吉田泉殿町1の101 電 761-5321 代表)
振替口座：京都 26625 番
なお定員になり次第申込みを締切らせていただきますので，早目にお申し込み下さい。

関西支部行事案内 (大阪市東成区中道元町1丁目 149番地 電話 大阪(06) 981-2510, 振替口座 大阪 82599)

関西支部第41回総会及び支部創立40周年記念式典

◀ 5月23日(木) 14.00～ ▶

1. 日 時：1968年5月23日(木) 14.30～19.00
2. 場 所：大阪科学技術センター 8階小ホール 電話 大阪(06) 443-5321 番
大阪市西区靱1丁目 118番地 地下鉄3号線信濃橋下車北へ150m 靱公園北東角
3. 総 会：14.30～15.00
 1. 諸報告
 2. 新役員紹介
 3. 現，新支部長挨拶
4. 記念式典：15.00～15.20
 1. 支部長挨拶
 2. その他
5. 記念講演：15.20～16.00
 1. 40年を顧みて 神戸市立工業高等専門学校長 工博 近藤 泰夫
 2. 「関西の土木100年」について 大阪大学教授 工博 伊藤 富雄
6. 懇親会：講演終了後懇親会を催します。(8階ロビー，開会17時よりの予定)
参加費 500円
7. 記念出版：40周年を記念出版として「関西の土木100年」(B5版 200ページの予定)を刊行，総会当日発売の予定です。
特別頒価 700円
8. 申込方法：総会・記念式典・講演参加希望者は参加予定人員をハガキまたは電話にて，懇親会参加希望者は勤務先，連絡先および氏名を明記(様式随意)のうえ懇親会参加費500円を添えて，関西の土木100年(関西支部創立40周年記念誌)ご希望の方は特別頒価700円(後送希望者に送料100円)を添えて5月8日(水)までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。
懇親会参加証，記念誌引換券をお送りいたします。

中部支部行事案内 (名古屋市中区三の丸二丁目5番1号
建設省中部地方建設局企画室内 電話 名古屋 (052) 962-6311 内線 375)

昭和 43 年度第 1 回講習会

◀ 6 月 13 日 (木) ~ 14 日 (金) ▶

1. 日 時: 1968 年 6 月 13 日 (木) ~ 14 日 (金) 9.00 ~ 16.00
2. 場 所: 日興ビル会議室 (名古屋市中区新栄町 4 の 2)
3. 題 目: 電子計算講習会
4. 定 員: 50 名 (土木学会中部支部会員に限る)
5. プログラム:

<p>第 1 日</p> <p>9.00 ~ 9.05 開会あいさつ 支部長 佐々木正久</p> <p>9.05 ~ 10.30 電子計算の概要 建設省 中村 慶一</p> <p>10.35 ~ 12.00 プログラミング演習</p> <p>13.00 ~ 13.30 プログラミング演習</p> <p>13.30 ~ 16.00 電子計算の方法</p>	<p>第 2 日</p> <p>9.00 ~ 10.30 電子計算の手続</p> <p>10.30 ~ 12.00 プログラミング演習</p> <p>13.00 ~ 15.00 電子計算機による計算演習</p> <p>15.00 ~ 16.55 演習のまとめ</p> <p>16.55 ~ 17.00 閉会あいさつ 幹事長 黒田 晃</p>
---	--
6. 会 費: 3000 円
7. 申 込: 1968 年 5 月 31 日 (金) までに中部支部に会費を添えてお申込みください。なお講習者は各自の計算問題を用意してきてください。

中国四国支部行事案内 (広島市港町 10-3 自治会館内土木学会中国四国支部事務局)
電話 広島 (0822) 21-2666
または広島市二葉の里 国有鉄道中国支社施設部工事課
電話 広島 (0822) 61-2251 内線 242

昭和 43 年度土木学会中国四国支部総会および特別講習会 ◀ 7 月 18 日 (金) ~ 19 日 (土) ▶

(1) 中国四国支部総会

1. 日 時: 1968 年 7 月 19 日 (金) 9.00 ~ 9.20
2. 場 所: 徳島市西船場町 阿波銀行本店

(2) 特別講演会 (土質工学会四国支部共催)

1. 日 時: 1968 年 7 月 19 日 (金) 9.40 ~ 16.00
2. 場 所: 徳島市西船場町 阿波銀行本店
3. 題目および講師:

① 9.40 ~ 10.20 徳島県開発計画について	徳島県企画開発部次長 管 恒 夫
② 10.25 ~ 12.00 本四連絡架橋について	建設省道路局経済調査室長 井 上 孝
③ 13.00 ~ 14.30 ソ連の土質事情について	京都大学教授 工博 松尾 新一郎
④ 14.35 ~ 16.00 川鉄水島製鉄所建設における土質工学的諸問題	川鉄水島製鉄所土建部長代理 工博 小 松 雅彦

(3) 年次学術講演会

1. 日 時: 1968 年 7 月 18 日 (木) 9.15 ~ 16.15
2. 場 所: 徳島市南常三島町二丁目 徳島大学工学部
3. 講演題目:

第 1 会場 (水理学・水文学・衛生・河川・海岸工学)

- | | | |
|-----|---|-----------------------------------|
| 1-1 | 9.15 ~ 9.33 芦田川の水収支について | 中国地建 新居 栄一・〇釜口 忠士・馬場 敏一 |
| 1-2 | 9.33 ~ 9.51 徳島市における降雨強度時間頻度の相関曲面式 | 徳島大短 井上 文世 |
| 1-3 | 9.51 ~ 10.09 山腹における保水能力の評価について | |
| | 広島大 工博 金丸 昭治・山口大短 星 健三・広大院 〇三島 隆明・山本 勝 | |
| 1-4 | 10.09 ~ 10.27 雨量より流量への交換方式の阿武川 (山口県) への応用 | 山口大 農博 藤原 輝男 |
| 1-5 | 10.27 ~ 10.45 中海の干拓、淡水化事業と水質汚濁 | 京大 工博 合田 健・工博 〇中西 弘 |
| 1-6 | 10.45 ~ 11.03 松本川における水質について | 山口大 浦 勝・松尾 信・星隈 保夫 |
| 1-7 | 11.03 ~ 11.21 地下水の揚水試験に関する一考察 | 広島大 工博 金丸 昭治・山口大短 〇星 健三・広大院 三島 隆明 |
| 1-8 | 11.21 ~ 11.39 橋脚周囲の洗掘について | 山口大 〇齊藤 隆・柴田 幸信 |

- 1-9 11.39~11.57 帯工付近の局部洗掘について 徳島大 ○湯浅 博明・徳大院 堀 勝也
 11.57~12.10 討 議
 12.10~13.00 昼 食
 1-10 13.00~13.18 横スリットによる噴砂現象 愛媛大 滝野 正次
 1-11 13.18~13.36 鉛直水門の流出機構について—縮流係数に及ぼす力学的要素の影響について—
 広島大 工修 ○名合 宏之・運輸省 工修 堀江 毅
 1-12 13.36~13.54 沖積河川の河床状態の区分法 徳島大 工博 杉尾拾三郎
 1-13 13.54~14.12 護岸断面形状変化地点付近の波高分布について 徳島大 工修 ○三井 宏・日本建コンサル 工修 川崎 俊太
 14.12~14.20 討 議
 14.20~14.30 休 憩

(コンクリートおよび鉄筋コンクリート)

- 1-14 14.30~14.48 コンクリートの打込み方向と載荷方向との関係 大阪市大 工博 久保 直志・愛媛大 ○松木 三郎
 1-15 14.48~15.06 コンクリートの配合が振動締固め効果におよぼす影響
 徳島大 河野 清・○水口 裕之・近畿コンクリートKK 里見 洋征・大林組 高部 剣也
 1-16 15.06~15.24 振動台により締固めた人工軽量骨材コンクリートの硬化度の諸性質
 徳島大 工博 荒木 謙一・河野 清・○井上 宣仁・神戸市役所 伊賀 俊昭
 1-17 15.24~15.42 かつ練りコンクリートの蒸気養生に関する研究 徳島大 工博 荒木 謙一・河野 清・○林 岑 生
 1-18 15.42~16.00 鉄筋コンクリートばりのせん断疲労に関する研究 山口大 工博 加賀美一二三・○三浦 正昭・平野 寛
 16.00~16.15 討 議

第2会場(応用力学・構造力学・橋りょう・交通工学)

- 2-1 9.15~9.33 有孔H形はりの弾性応力 広島大 工博 大村 裕・工修 ○上野 谷 爽
 2-2 9.33~9.51 斜め吊材をもつ吊橋に関する研究 徳島大 工博 星 治雄・工修 春本 繁
 2-3 9.51~10.09 電子計算機による平面剛滑節構造物の塑性関節および崩壊荷重の追跡について
 徳島大 工修 児嶋 弘行・工修 ○平尾 潔
 2-4 10.09~10.27 仁淀川橋の補強とそれに関する応力測定について 中国地建 矢萩 和郎・肥田木 修
 2-5 10.27~10.45 海川口橋(トラスドラムゲージ桁橋)の死荷重、活荷重および振動に対する実験と考察
 徳島大 工博 星 治雄・工修 児嶋 弘行・阿南工博 工修 ○神田 睦
 2-6 10.45~11.03 海川口橋の設計および現地実験 徳島県 ○吉村 信一・四国建設コンサル 楠本 博之・三菱重工 戸倉 隆
 2-7 11.03~11.21 国鉄の建造物検査制度について 国鉄 新田 実・○平岡十九三
 2-8 11.21~11.39 交通量の最適観測網について 中国地建 松延 正義・○佐々木良樹
 11.39~11.50 討 議
 11.50~13.00 昼 食

(道路・土質・基礎工学・トンネル)

- 2-9 13.00~13.18 アスファルト混合物の粘弾性的研究 山口大 上田 満
 2-10 13.18~13.36 砕石アスファルトコンクリートのマージナル試験の実験的研究 徳島大短 工博 森吉 満助
 2-11 13.36~13.54 光弾性による馬蹄形トンネル巻立内の応力分布に関する模型実験(その2) 徳島大 工博 小田 英一・○藤沢 邦彦
 2-12 13.54~14.12 純粋せん断試験装置による粘性土のクリープの実験的研究 徳島大 工博 小田 英一・○木村 亨
 2-13 14.12~14.45 地盤改良におけるパーチカルドレーンの効果に関する二、三の考察 広島大 工博 網千 寿夫・工修 ○吉国 洋
 14.30~14.40 討 議
 14.40~14.45 休 憩

(土質および基礎工学)

- 2-14 14.45~15.03 新型現場間げき水圧測定装置について 広島大 工博 網千 寿夫・○門田 博知
 2-15 15.03~15.21 軟弱地盤上の盛土の安定解析のためのコンピュータプログラム
 徳島大 瀬川 浩司・徳大院 ○山上 拓男・大阪市役所 宮本 広一
 2-16 15.21~15.39 ダム岩盤粘土帯の組成と透水性について 愛媛大 理博 ○山下 親平・松木 三郎・片山 修三
 2-17 15.39~15.57 植生工法における品種の組合せと土壌保全の効果について 日本植生KK 本松 照雄
 15.57~16.15 討 議

(4) 見 学 会

1. 日 時: 1968年7月20日(土)
2. 見 学 先: Aコース(四電那賀川水系) 蔭平発電所→小見野々ダム→鳴門コース
 Bコース 川重坂出工場→川鉄水島製鉄所コース
3. 参加者資格: 土木学会会員
4. 集 合: 7月20日8時 徳島市内の予定
5. 行 程: 8.00~17.00
6. 参 加 料: 無 料
7. 定 員: Aコース・Bコース共50人
8. 申込期限: 1968年7月10日(木)
9. 申込方法: 参加希望者は勤務先、連絡先(住所電話番号)および氏名を明記(様式随意)のうえ7月10日(木)までに土
 学会中国四国支部事務局へお申し込み下さい。参加証(集合場所を記入)をお送りします。

国際会議のお知らせ

(1) ERFABRUNGEN MIT DER RECHENTECHNIK IM BRÜCKENBAU

主催: Tschechoslowakische Wissenschaftlich-Technische Gesellschaft (ČSVTS)
 Forschungsinstitut für Ingenieurbauten. (VÚIS)
 期 日: 1968年10月22日~22日
 場 所: Bratislava, Czechoslovakia
 主 題: 1. Ausnützung der Ziffern-Rechenautomaten in der Entwurfsparaxis des Brückenwesens
 2. Analogsechner, elektrische Analogien und Hybridmethoden
 3. Besichtigung des des Rechenzentrums und der Baustelle der Donaubrücke in Bratislava
 連絡先: Doz. Ing. Tibor Jávör, CSc.,
 Forschungsinstitut für Ingenieurbauten
 (Výskumný ústav inžinierskych stavieb)
 Bratislava, Lamačská cesta č. 8
 ČSSR

(2) INTERNATIONAL CONFERENCE ON STRUCTURE, SOLID MECHANICS
 AND ENGINEERING DESIGN IN CIVIL ENGINEERING MATERIALS

主催: The Concrete Society University of Southampton
 期 日: 1969年4月21日~25日
 場 所: University of Southampton, England
 主 題: 1. Internal Structure and Micromechanics of Material Systems
 2. Structure and Mechanical Properties
 3. Engineering Design
 連絡先: Secretariat: M. Te'eni
 Department of Civil Engineering
 University of Southampton
 Southampton SO9 5NH
 England

「本州四国連絡橋技術調査報告書」特別頒布

本学会が建設省および日本鉄道建設公団より委託をうけていた成果がこのほど上記報告書の形で完成し、それぞれ委託者に提出された。本報告書は学術的にも技術的にもきわめて貴重なものであり、委託者のご厚意により限定部数にかぎり増刷の許可をえたので希望者は至急申込みたい。

記

本州四国連絡橋技術調査報告書	A 4 504 ページ
〈同・付属資料1〉	
耐風設計指針 (1967) および同解説	A 4 182 ページ
〈同・付属資料2〉	
耐震設計指針 (1967) 同解説および耐震設計詳説	A 4 194 ページ
〈同・付属資料3〉	
鋼材に関する調査資料	A 4 142 ページ
以上4冊・上製箱付合本 合計	A 4 1,022 ページ
頒 価: 9,000 円 (送料とも)	

申込要領: 前金で土木学会刊行物頒布係へお申込み下さい。先着順に締切ります。